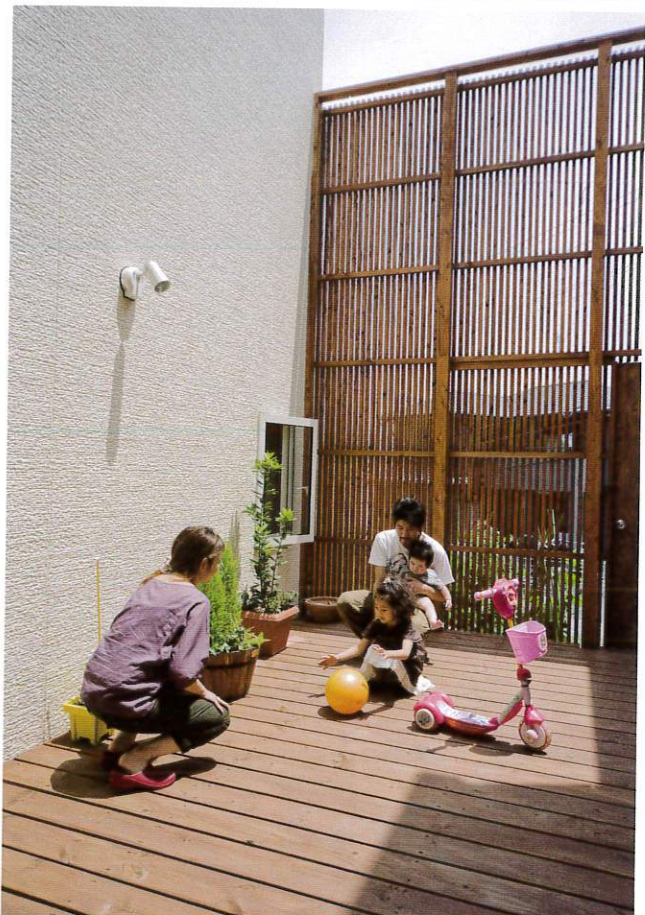


「建築プランナー」がつくった 糟屋郡在住ノYさんの住まい ウッドデッキの中庭を囲んで 家族みんなが輪になる住まい

マホガニー色した木の格子が、白い外壁を優しく引き締める。一見シンプルな四角い箱型の住まいだけれど、じつは中庭を囲んでコの字型をしているYさんの住まい。家中どこにいたって夏は涼しく、冬はあったか。光と風にあふれた一年中気持ちのいい快適空間です。



「バーベキューができるような中庭がほしい」という要望から生まれたウッドデッキの中庭。60年代の北欧家具が似合うリビング(左上)と和紙の畳を敷いた和室(右上)

一棟まるごと暖房システムで
寒い冬でも目覚め爽やか

ウッドデッキを敷いた中庭が、家中のどの部屋の窓からもよく見える。「家族みんながこの中庭を気に入っています。子どもたちだけで遊んでも、この設計なら料理を作りながら、その様子を確認できるので安心なんですよ。」

どこにいても家族の存在をすぐ近く感じていられる。それが「建築プランナー(株)一級建築士事務所」(以下・建築プランナー)の住まいのひとつの特徴だ。

「建築プランナー」にYさん夫妻が住まいの相談をしたのは、2年ほど前のことだ。特に奥さまは「家族で経営している」と、同社ならではの「二棟まるごと暖房システム」が気に入ったという。

「私はすごい冷え性なんですけど、暖房器具を使うのは嫌いなんです。ずっと、冬でも暖かい家に住みたかった。建築プランナーさんのこれまでの施工例を見学に行った時、どの家も本当に暖かくて驚きました」もちろんY邸も「二棟まるごと暖房システム」を取り入れている。空間を必要以上に壁で仕切ることなく自由に設計できるのも、このシステムがあるおかげだ。Yさん一家の入居は昨年の10月。間もなく訪れた冬、ブルブルと震えるはずの朝も、家の中はあったか。「気もち良く起きられたのがとてもうれしい」と奥さま。一日の始まりはいつも、晴れやかで清々しい。

白い外壁にマホガニーの格子を取り付け洗練された印象の外観。周辺を季節の花や緑に囲まれたY邸



ステップを取り付けて視界が変わるのを楽しむ2階。右上は娘さんの遊び場だ



見通しのいいLDK。壁は一面、白い珪藻土。マリメッコの生地を絵に見立ててアクセントに。右上の吹き抜けの表情がまた美しい



バスルームへと続く洗面所は木の質感を生かした造作。大きな鏡が正面の窓からの光を集める

中庭を出てすぐのところの設けられた家庭菜園。いろんな野菜がたわわに実る



私の好きな場所

【キッチン】

中庭からの光が届いていつも清々しいキッチン。「ここから眺める中庭の風景が気に入っています。中庭を作って本当に良かった」と奥さま。ダイニングとの対面式で3~4人が一度に集まって調理をしても余裕の広さ。お友達とお菓子づくりも楽しそうだ



いずれは2部屋に分けることもできる2階の子どもの部屋。吹き抜けの天井を通して1階の様子もよく分かる。右手前に小さな口フタがあり、そこが娘さんお気に入りの遊び場。本当はお父さんの隠れ家にしたかったそう

珪藻土の塗り壁は お父さんの力作

外の道路からは1階部分にタテに細長い窓しか見当たらないY邸。けれど、中庭に面している窓が余裕の大きさだから、家の中はいつも光で満たされている。室内の壁は白い珪藻土の塗り壁。そのほとんどをご主人が塗ったと聞いて驚いた。「できるところはなるべく自分のちの手で作らせてくださいってお願いしたんです。中庭のウッドデッキや壁も僕が塗りました」とご主人。毎日時間が許す限り現場に出かけ、他の職人さんたちと一緒に作業をしたのだという。「本当に楽しくて。建材の特徴や家の構造も分かって、とても勉強になりましたよ」と充実の笑顔。作業が終わり、家に近づくと、家への想いも深まっていったそう。

檜の無垢材を敷いた1階のフロアはフラットで家事動線が良く、子ども

「この家で暮らし始めてから、私も家の中で遊ぶ時間が多くなりました。家事もまったく苦にならな(笑)。料理のレパートリーも増えました。友達と一緒に遊びも楽しんでいます」と奥さま。庭にはご主人のお母さまが丹精込めて育てる家庭菜園も。「娘はここで採れた野菜が大好きなんですよ」。4才になる娘さんは、今日も採れたのきゅうりをまるかじり。やがて聞こえてきた元気の良い笑い声はウッドデッキの中庭に響き、青空へと抜けていった。

COMPANY DATA

建築プランナー 株式会社

福岡市南区和田4-3-3

連絡先

TEL 092-512-3931

HPアドレス

www.kpkp.co.jp

詳しい情報は45ページに掲載